

装置型式	i-Share-WL*/WP	i-Share-WL*/US（開発中）	i-Share-WL*/RW
ソーラーパネル	i-Share-SOLA/8W		
出力	12V,8W		
寸法	285×240×26mm（1.2kg）		
制御 BOX	i-Share-BOX1		
BOX 構造	400×300×200mm 鍵付き		
BOX 材質	ポリカーボネート		
BOX 防水・防塵	IP65		
BOX 重量	10kg 以下		
電源電圧	15V（内部昇圧）		
電池	鉛蓄電池 12V/7.2Ah		
通信規格	LTE Cat.4/3G		
GPS	位置情報 時刻同期		
水位センサー	i-Share-WPS/30M	i-Share-USS（開発中）	i-Share-RWS
寸法	21×74mm	130×175mm	104×696mm
計測方式	水圧式	超音波式	電波式
計測範囲	0～10m	0.3～10m	0.3～20m
計測分解能	10mm	10mm	1mm
最大ケーブル長	30m（100m まで変更可）	－	－
取付支柱	i-Share-STDS		
サイズ	900×300×300mm（H×W×D）		
重量	20kg 以下		
材質	鉄（表面処理：亜鉛溶融メッキ）		

*について G：国土省基準の危機管理型水位計運用システムクラウドと連携 E：弊社の独自運用システムクラウドと連携 A：両方のシステムクラウドと連携



危機管理型水位計 i-Share-WL シリーズ

豪雨による河川・溜池の氾濫の
事前察知で人を救う

センサー一覧

i-Share-WPS/30M
水圧式水位センサー



センサー部を川底に沈めて設置し、
増水した時の水圧により
川の水位を測定するセンサー

i-Share-USS（開発中）
超音波式水位センサー

No image

河川の上に設置し、水面に向かって
超音波を発信し反射波が戻ってくるまでの
時間から距離を計算することで
川の水位を測定するセンサー

i-Share-RWS
電波式水位センサー



河川の上に設置し、水面に向かって
電波を発信し反射波が戻ってくるまでの
時間から距離を計算することで
川の水位を測定するセンサー



販売元

製造元 エイリツ電子産業株式会社
〒815-0063
福岡県福岡市南区柳河内 1-2-50
TEL (092)551-0231 FAX(092)551-1172
<http://www.eiritu.co.jp>
info-1250@eiritu.com

※本誌掲載の仕様及び機能は 2021 年 10 月現在のもので、これらは予告なしに変更することがございます。予めご了承ください。



概要

本装置は、河川や溜池などの水位を常時監視し測定値を送信する自律型水位計であり、豪雨・台風による氾濫をいち早く予知することで避難誘導の判断に活用いただく装置です。

特徴

-
- ①国土交通省基準の水位計仕様に準拠

 - ・国土交通省が運営する「川の防災情報」と情報連携
 - ・危機管理型水位計運用協議会が運営する「川の水位情報」と情報連携
-
- ②危機管理型水位計運用システムクラウドとの連携機能

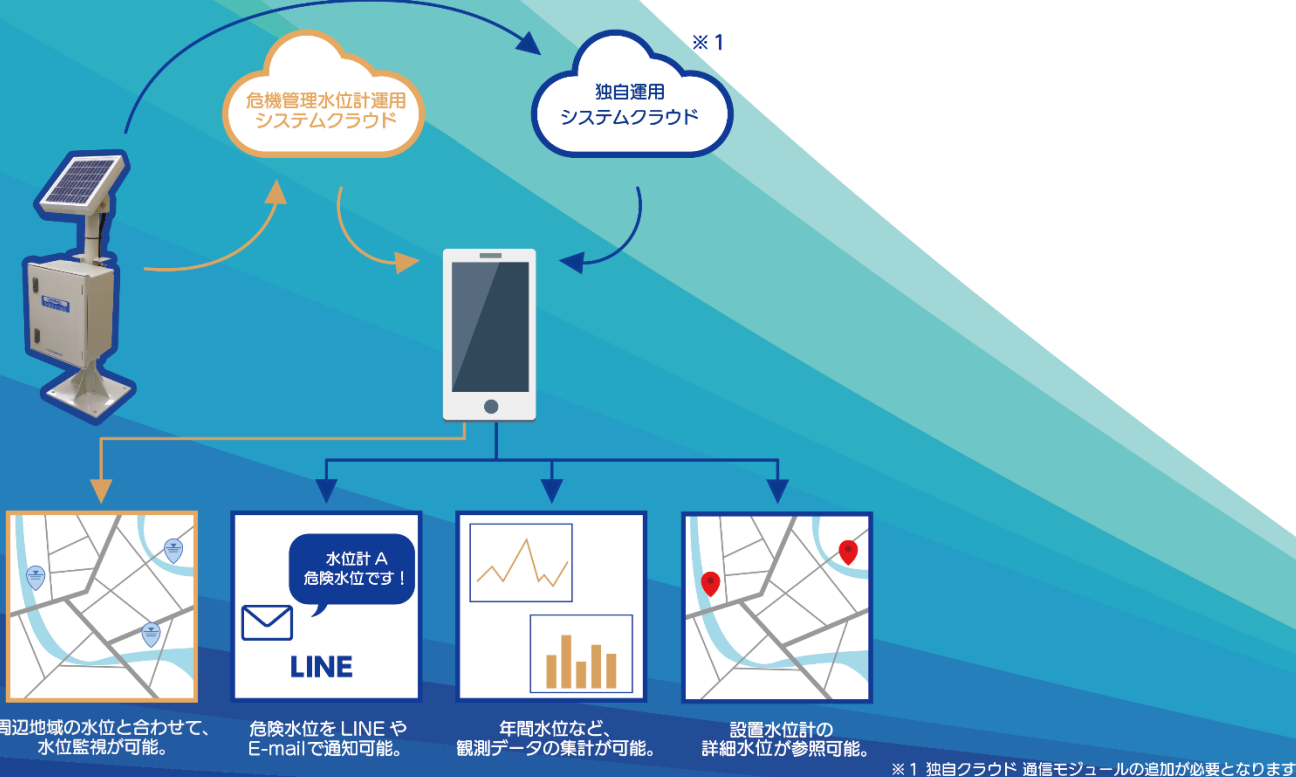
 - ・河川に設置された全ての水位情報を一元的に監視
 - ・近隣の水位情報を把握することで危険度を予測
-
- ③独自クラウドによるアドバンテージ ※1

 - ・E-mail や LINE による危険通知機能
 - ・雨量計（別売）とのデータ連携機能
 - ・設置場所の年間計測ログ
-
- ④監視場所に合わせたセンサー選択

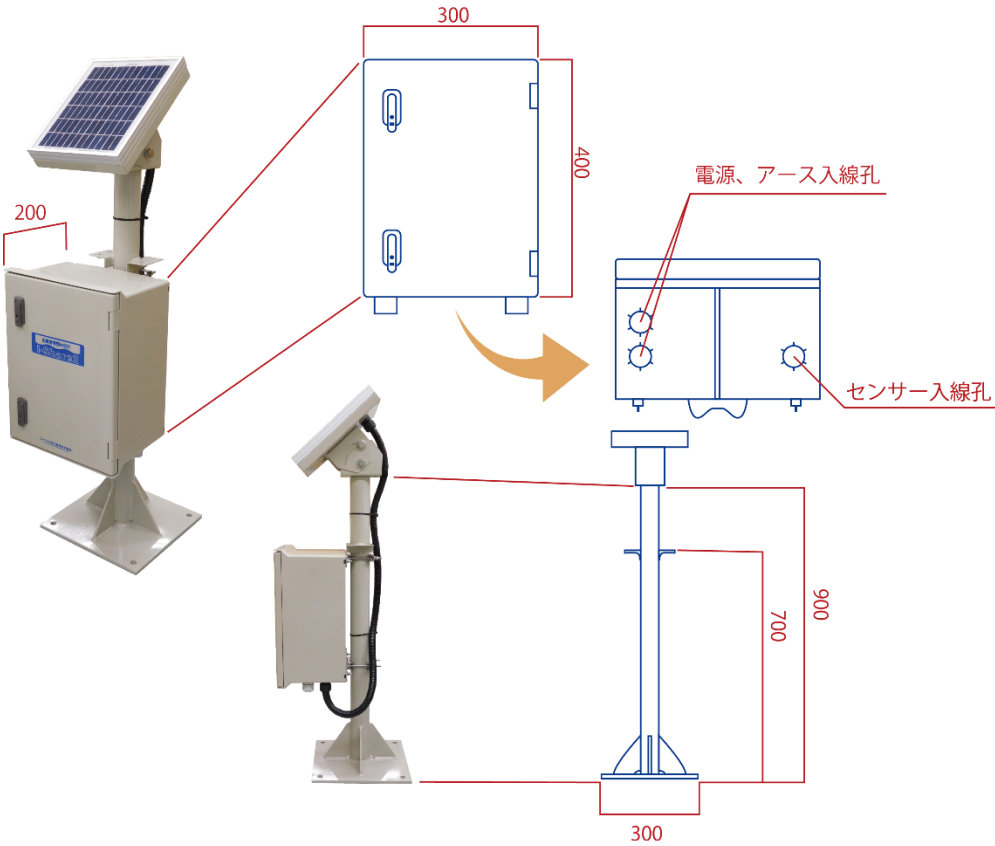
 - ・取付け場所の状況により、水圧式（水没設置）、超音波式 / 電波式（非接触設置）の選択ができるので、設置場所を選びません
-
- ⑤ソーラー発電により取り付け場所の電源供給不要

 - ・装置は省エネ設計となっており、ソーラー発電で充電が可能のため商用電源不要

機能



外観図



動作タイミングチャート

本装置による水位の測定と測定値の送信を行う動作モードについては、国土交通省基準に準拠し、河川（溜池）の水位に応じて、「監視モード」と「観測モード」があります。各モードの詳細については下表に示す通りとなります。時間経過とともに水位の変化例を下図の動作タイミングチャートに示しますが、2つのモードの切り替え動作と、危険水位の発生・解除の通知（独自クラウド通信モジュールを追加時のみ）、及び1日1回の死活通信について例示しています。

	監視モード	観測モード
特徴	水位が低く監視のみ行うモード	予め決めておいた水位より高くなった時に観測するモード
1日の測定回数	10分に1回	予め決めておいた測定間隔（10分/5分/2分）で測定
1日の送信回数	1日1回（死活通信）	水位測定ごと
非日照時	—	最大9日間非日照後でも150回は保証

